



始まりは、家づくり。インテリアも、手づくりも、
夢中になって追いかけて、洋書だって読みました。



理想の家を知ってしまったら、もう後戻りはできませんでした。最初、他の住宅会社でかなり話が進んでいました。もちろん家についての思い入れはあったけど、「暮らしを楽しむ」なんてことは頭になく、知識不足もあって「家を建てるって現実にはこんなものかな」という感覚でした。そんな頃、雑誌でエブリッジホームを知って、住まい手が生活を楽しんでいる様子に心を奪われました。理想の家ができるんだ、と知ってしまったらもう戻りません。すぐに乗り換えましたし、住宅のことが一気に知りたくなって、勉強もしました。インテリア関係の洋書だって読んでました。心に火がついて、夢中になって追いかけてました。もともと好きだったカフェも、「インテリアの参考に

なるかな」という目で見えるようになりました。手づくりをするようになったのも、建築中から。釘も打ったことがない私たちだったのに、基礎や柱だけエブリッジさんにつくってもらって庭に小屋を建てたり、床や梁を家族で塗ったり。家族が参加する家づくりがある、ということも知らなかったんです。でも、エブリッジさんに勧められてやってみたら、すごくいい思い出になって、愛着も湧いて。カーテンも自分で縫いました。「クリップで留めるだけいいですよ」とエブリッジさんが背中を押してくれたおかげです。この家に暮らして、「私の憧れは田舎暮らしなのかな」と気づいた気がします。庭をお花でいっぱいしたり、ハーブを育ててお茶にしたり。そんな生活を楽しみたいですね。

たくさんの子育て中のママ、パパからうれしいメッセージがたくさん届いています！



里枝ママファミリーのお家
家族みんなのアトリエで、ギャラリーで、作品です。



友紀子ママファミリーのお家
悩んで、迷いながら、何度も話し合っただからこそ、後悔のない、満足のいく家ができただと思います。



麻利ママファミリーのお家
古くなったり汚れたりするのも「味がいいな」と感じられるようになりました。

F Ridge Home
エブリッジホーム株式会社 茨城県鉾田市柏熊457-4
TEL:0291-32-3139 FAX:0291-32-2843
<http://www.tomine.co.jp/> エブリッジホーム 検索



資料請求
エブリッジホームのすべてがわかるHow to bookと作品集DVDを差し上げます。

庭のシロツメクサでつくった首飾り。
家族みんなで建てた小屋。
日々の暮らしが、大切な時間になりました。



クール版2013年12月号に
ひたちなか市Nさんのお家が
掲載されました。
2012.10

由季子ママファミリー
Yukika Mama Family
健一(けんいち)7歳、13歳の裕奈(ゆな)ちゃん、8歳の友里愛(ゆりあ)ちゃん、4歳の友里愛(ゆりあ)ちゃんのお家。

お気に入りポイント3



キッチンの脇には、ママのパソコンコーナーも。家事の合間やお出かけ前に、ささっと調べものができて、とっても便利。

お気に入りポイント2



2階の階段前にあるアイアンのフェスは、ママがデザインしたものをパパが溶接してつくってくれたのだそう。

お気に入りポイント1



キッチンのカウンターは、パパが自分でわざとキズをつけて、アンティーク風にエイジング加工。家族の食事はもちろん、友里愛ちゃんの勉強場所としても。

ここもお気に入り



訪ねる人を暖かく迎えられる、タイル敷きの玄関。「ただいま」がうれしくなるね。



ドアは2つだけど、中は向かい合わせの机でつながる子ども部屋。将来は仕切れることも検討中。



トイレの手洗い場ですが「娘2人だけど、将来ケンカしないよう」、第2の洗面室としても。



自宅で週2回、書道教室を開く由季子ママ。向かって左の部屋が教室です。